



TRE HOLDINGS

**埼玉県サーキュラーエコノミー推進分科会
令和8年度総会**

自治体と連携した取組事例紹介

タケエイ と リバー が2021年10月に経営統合



1967年創業
建設廃棄物処理トップ



1904年創業
金属リサイクラー

設 立

2021年10月1日

本 社

東京都千代田区

代 表

代表取締役会長 松岡直人
／代表取締役社長 阿部光男

資本金

100億円

拠点数

68拠点

従業員

連結：2,393名

事 業

廃棄物処理・再資源化事業
資源リサイクル事業
再生可能エネルギー事業
その他環境事業

1 廃棄物処理・再資源化事業

産業廃棄物の収集運搬、中間処理、
再資源化、最終処分



2 資源リサイクル事業

金属、家電、自動車のリサイクル



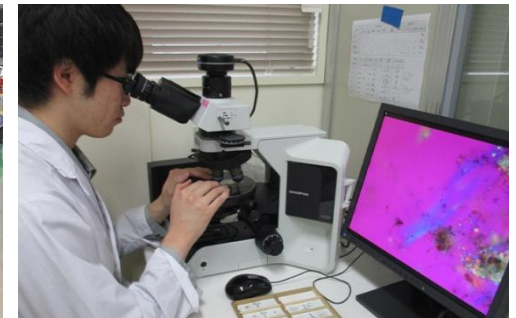
3 再生可能エネルギー事業

バイオマス発電所の運営、売電、
燃料調達、付帯事業



4 その他環境事業

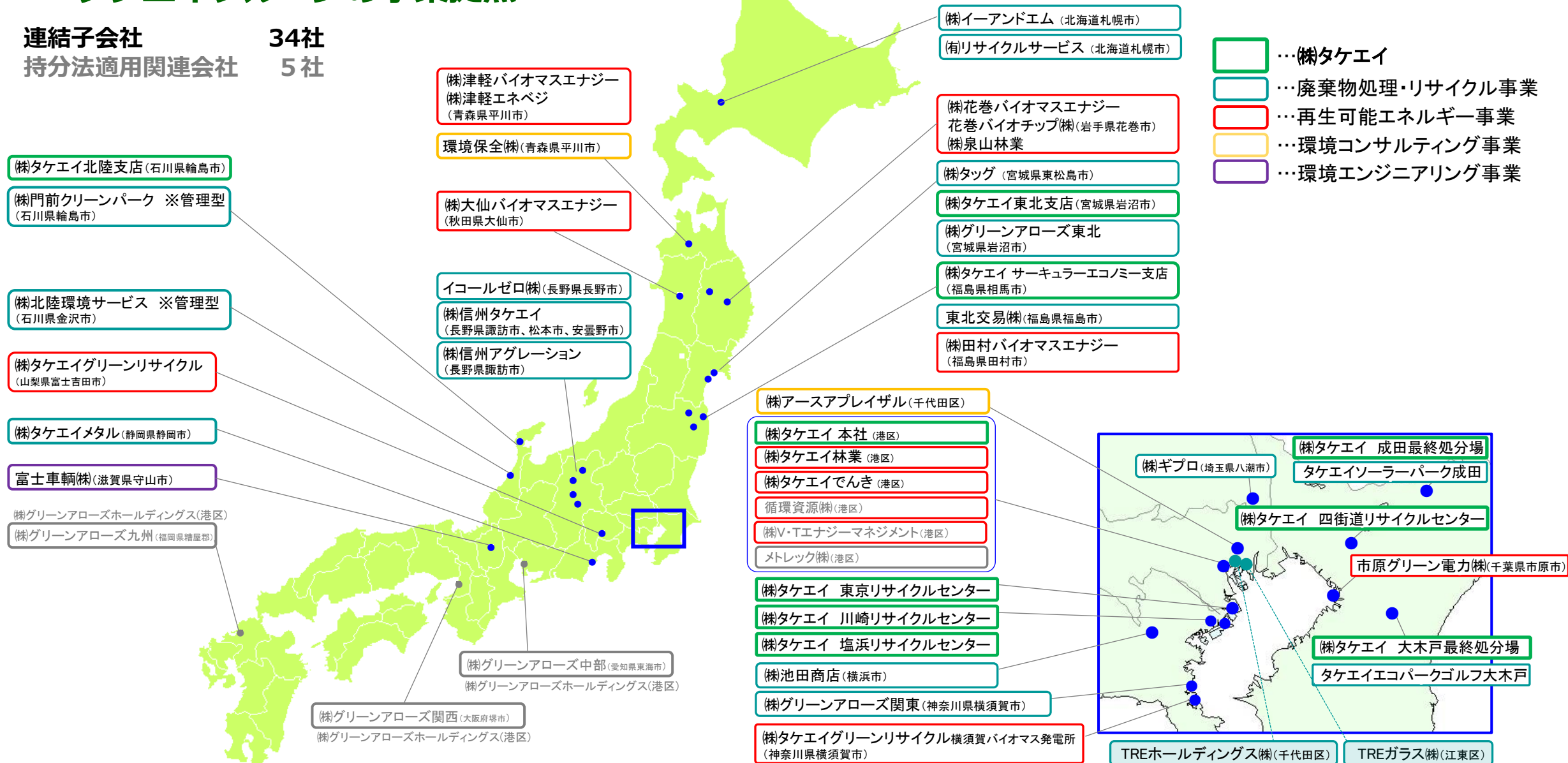
環境エンジニアリング事業、
環境コンサルティング事業



1. TREホールディングス(株)概要

■ タケエイグループの事業拠点 (2026年7月1日現在)

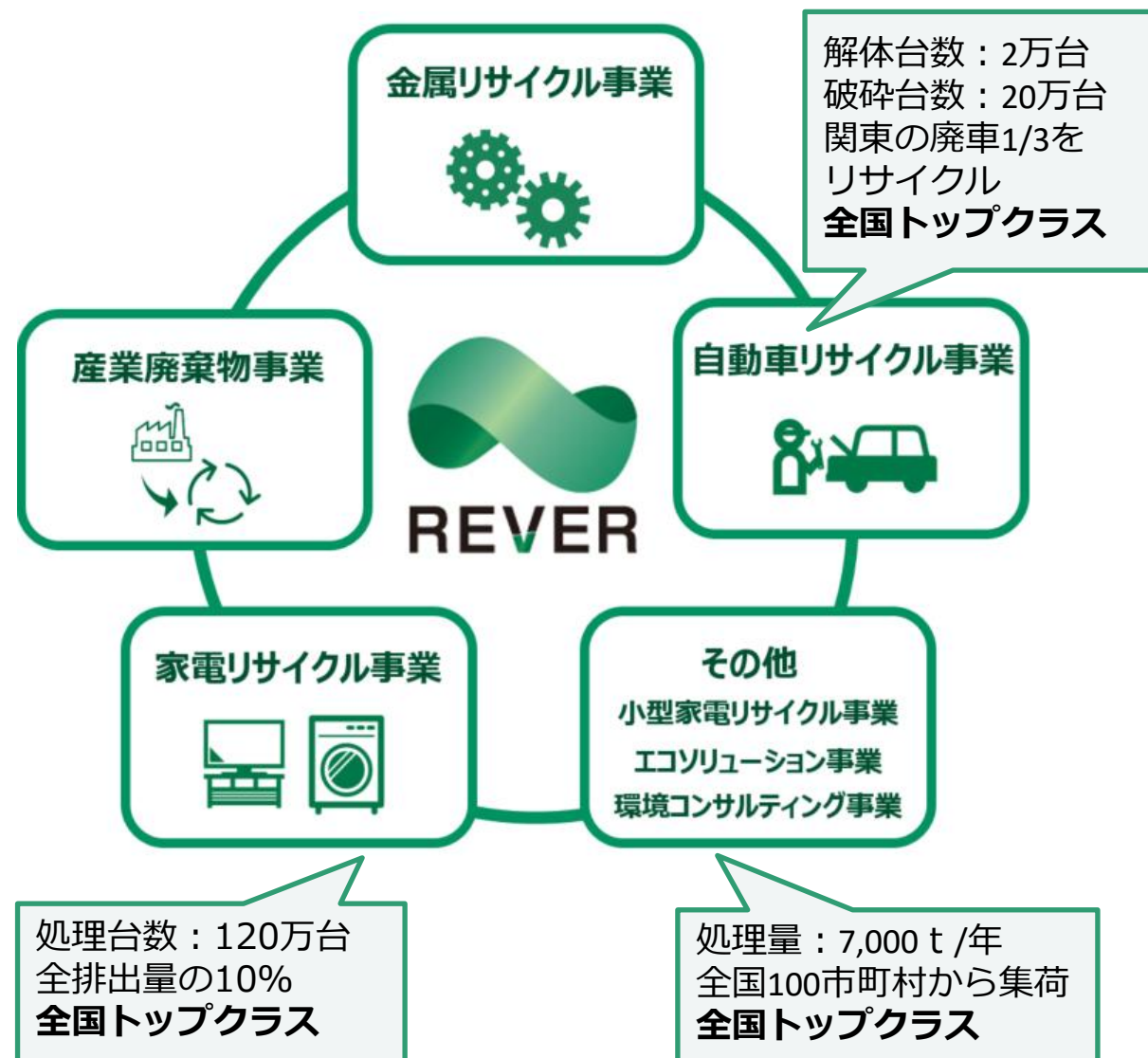
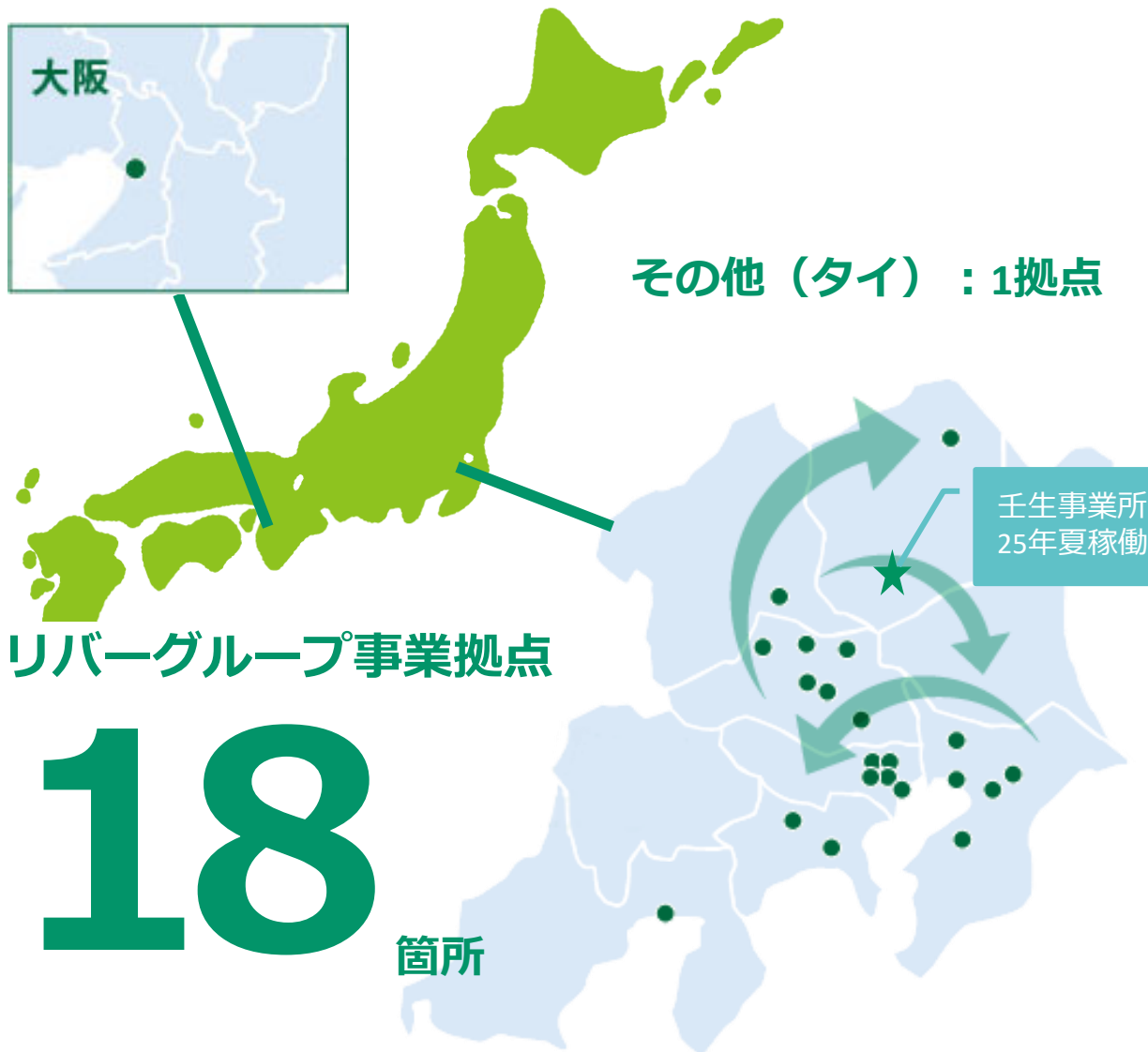
連結子会社 34社
持分法適用関連会社 5社



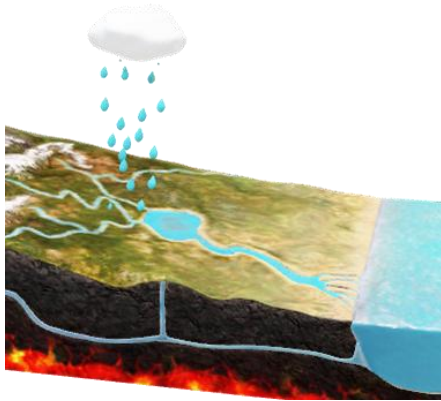
1. TREホールディングス(株)概要

リバーグループの事業展開

事業会社3社 全国7つの大型シュレッダーを完備



1 災害対応



◆ 災害廃棄物対応の
支援体制の整備

2 地域課題解決の伴走



◆ 地域のニーズを個別に伺い、
解決に向けた事業を共創

3 多様な品目の 再資源化



◆ 多様な品目の再資源化を
ワンストップで対応

2. 災害対応 災害時の応援等に関する連携

- ✓ 廃棄物の引受や仮置場の運営など、災害や事故からの早期復旧支援を長年経験
- ✓ **災害支援協定**を締結し、地域の**レジリエンス強化**に加え、**防災啓発の協働**も企画

1 経験した主な災害・事故

2007年 能登半島地震

2011年 東日本大震災

2012年 笹子トンネル天井板落下事故

2019年 令和元年台風

2024年 能登半島地震

2025年 大船渡市大規模山林火災

2 災害支援協定のパートナー自治体様

千葉県 千葉市 四街道市 習志野市

群馬県 草津町

長野県 諏訪市

福島県 相馬市



2. 災害対応 能登地震の対応について

- ✓ 約450名をグループから派遣し、輪島市、珠洲市の仮置場7か所を運営
- ✓ 「株式会社ヨバレ」を設立し、能登復興・産業創出支援プロジェクトを始動

仮置場の様子



(株)ヨバレ 4つの中心事業



森林再生整備事業



バイオマス発電事業



魚の養殖事業



漆の植栽事業

3. 地域課題解決の伴走 環境課題等に関する連携協定

- ✓ 個別対話から解決事業を共創するため、**環境課題等に関する連携協定を締結**
- ✓ 多様な地域課題の解決に向けて**幅広い分野で連携**

締結自治体様

埼玉県美里町
(2025年11月)

埼玉県滑川町
(2026年1月)

東京都稲城市
(2026年4月)

千葉県白井市
(2026年7月)

協力する内容

- (1) CNおよびCEの実現に関すること
- (2) 自然環境の保全に関すること
- (3) 災害時の協力に関すること
- (4) 環境教育に関すること
- (5) その他目的達成に必要なこと

個別の対話を重ね、それぞれの地域課題の解決策を具体化



埼玉県美里町様との締結式



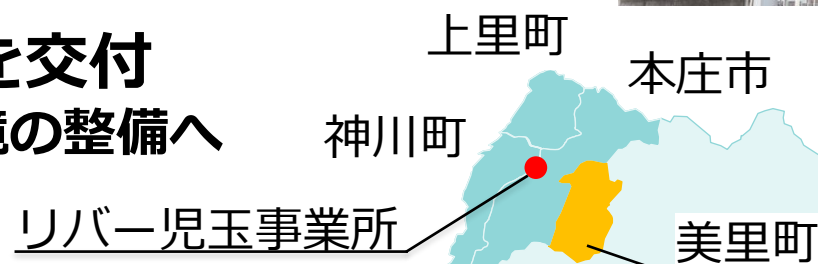
埼玉県美里町様と締結式

埼玉県美里町 × リバー児玉事業所

町が処理困難な廃棄物の処理
(ボウリング球や漬物石など)



協定に基づき収集運搬業の許可を交付
住民へ適切な廃棄処理方法を案内する環境の整備へ



リバー児玉事業所について

児玉郡市の4市町と連携
住民向けに小型家電等回収イベントを実施
2025年度は合計41 t を回収し、住民サービス向上に貢献

埼玉県滑川町 × リバー東松山事業所

プラスチック一括回収時の
リチウムイオン蓄電池混入リスク軽減



小型家電のイベント回収と併行した
解体実演によるLiB啓発の企画



リバー東松山事業所について

EC通販の返品廃棄品やアパレル用品などの
機能破壊が必要な廃棄物进行处理
物の特性に応じた破碎選別や圧縮梱包の対応



東京都稲城市 × 市原ソーティングセンター

使用済プラスチック使用製品の
安定的な材料リサイクルの実施



市原ソーティングセンターでの再商品化



市原ソーティングセンターについて

TREグループの重点事業である環境複合事業の1つ
詳細は後ほどご紹介



埼玉県加須市 × リバー加須事業所

老朽施設の停止に伴う不燃残渣処理
(プラスチック・ガラス・金属)



処理を引き受け、行政機能を代替
行政サービスの維持に貢献

市で対応が難しい処理困難物の処理
(PC等の情報機器、除湿器、
ウォーターSV等のフロン含有機器)



一廃処分業の許可、市民の直接持込にも対応



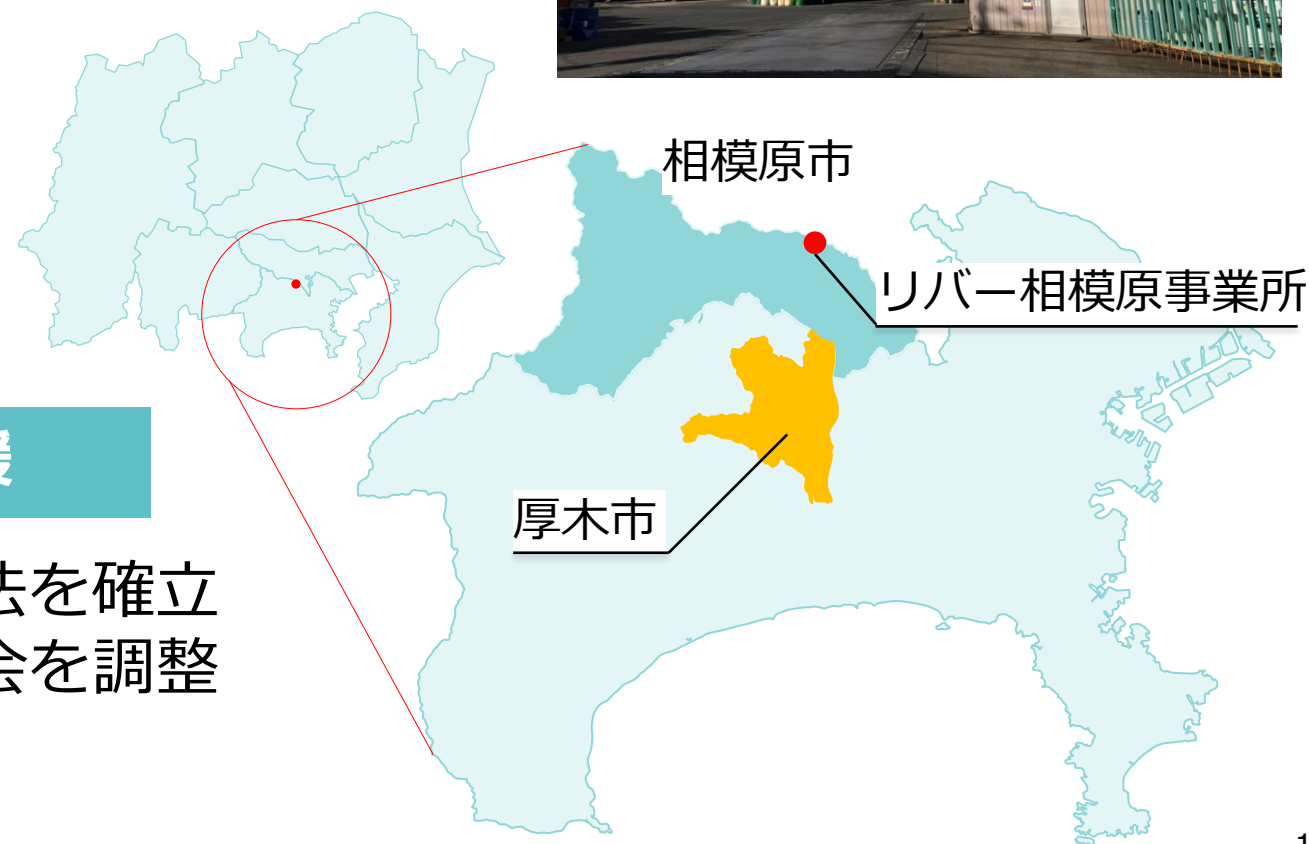
神奈川県厚木市 × リバー相模原事業所

住民から回収した不燃物から処理困難物の除去
(LiBやスプレー缶など)

選別作業を引き受けることで、
市施設での円滑な処理を支援

自治体間の調整を含めた伴走型支援

トライアルを重ね、試行錯誤で実施方法を確立
厚木市と相模原市の合同現場視察の機会を調整



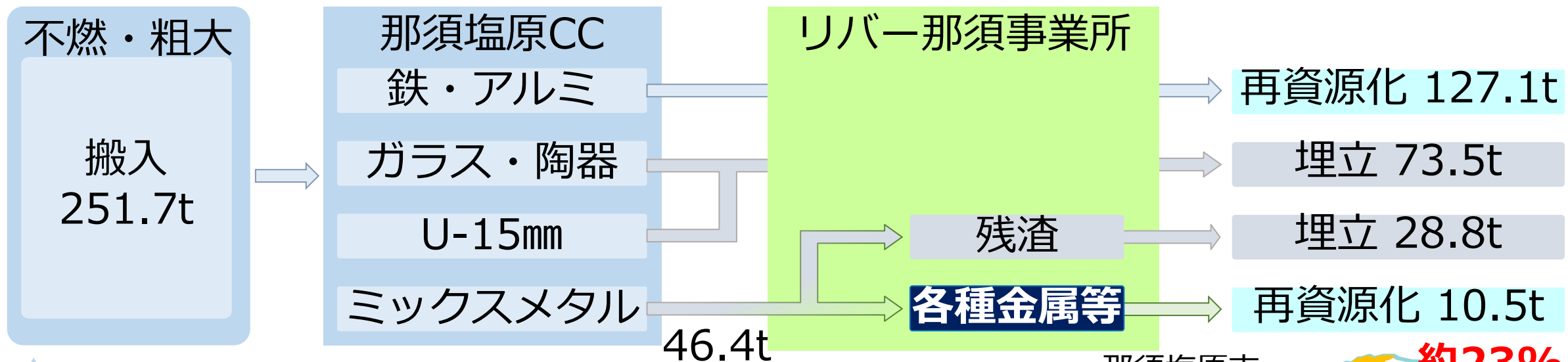
栃木県那須塩原市 × リバー那須事業所

市施設から出る不燃/不燃系粗大ゴミ由来の
破碎残渣物の再資源化実証事業（環境省補助）



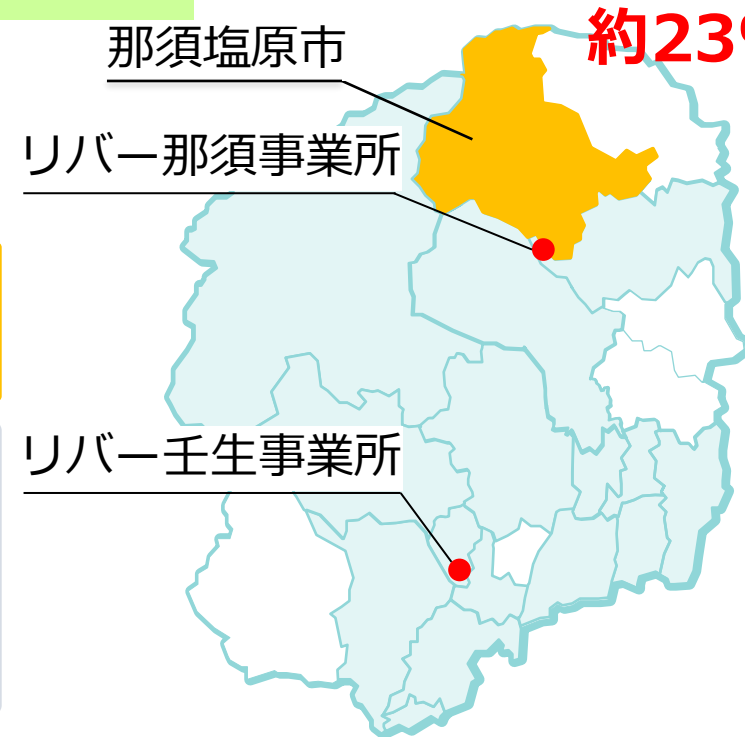
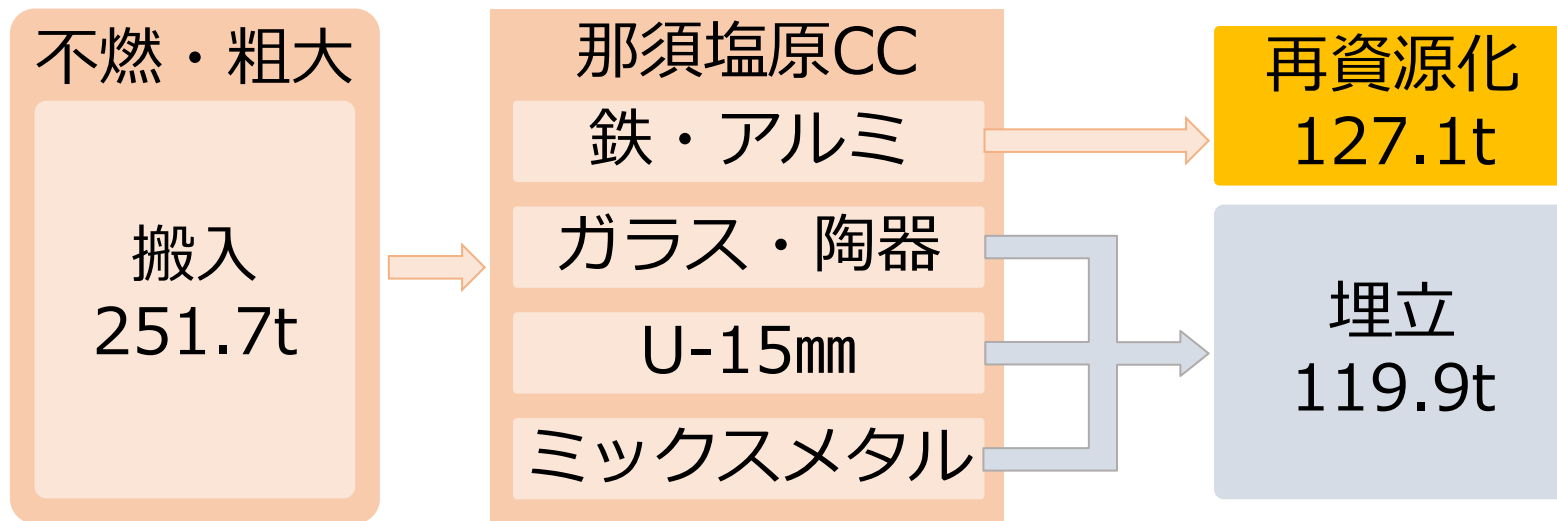
那須事業所の高度選別機能による 未利用金属等の再資源化



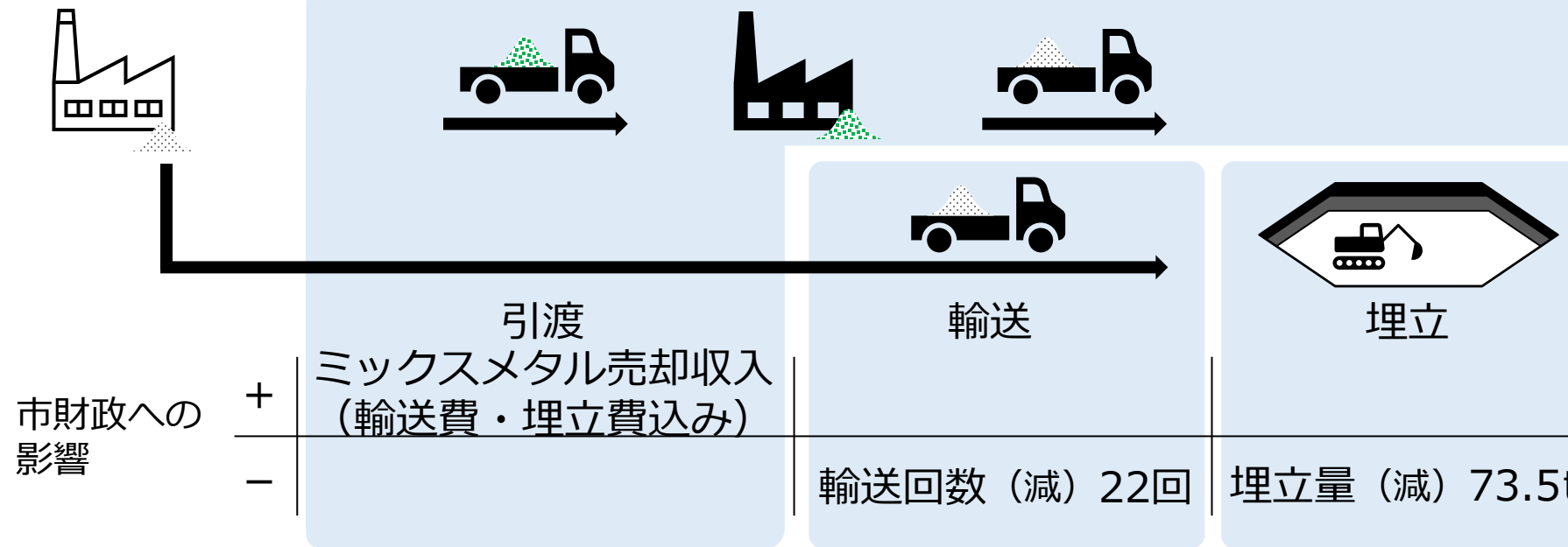


▲ 実証

▼ 従来



実証 ミックスメタルから有価物を選別し、その他を最終処分



凡例

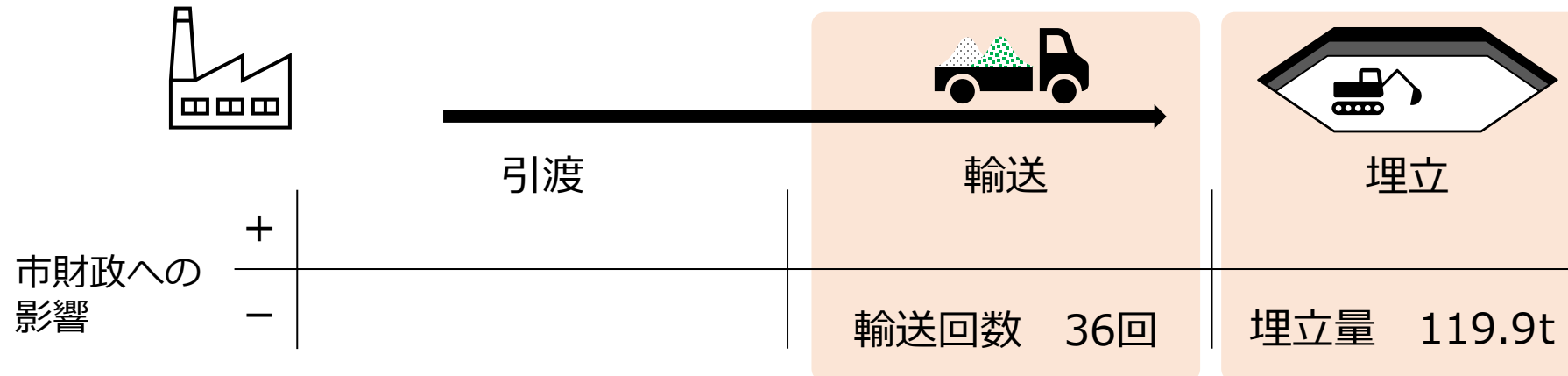


ミックスメタル

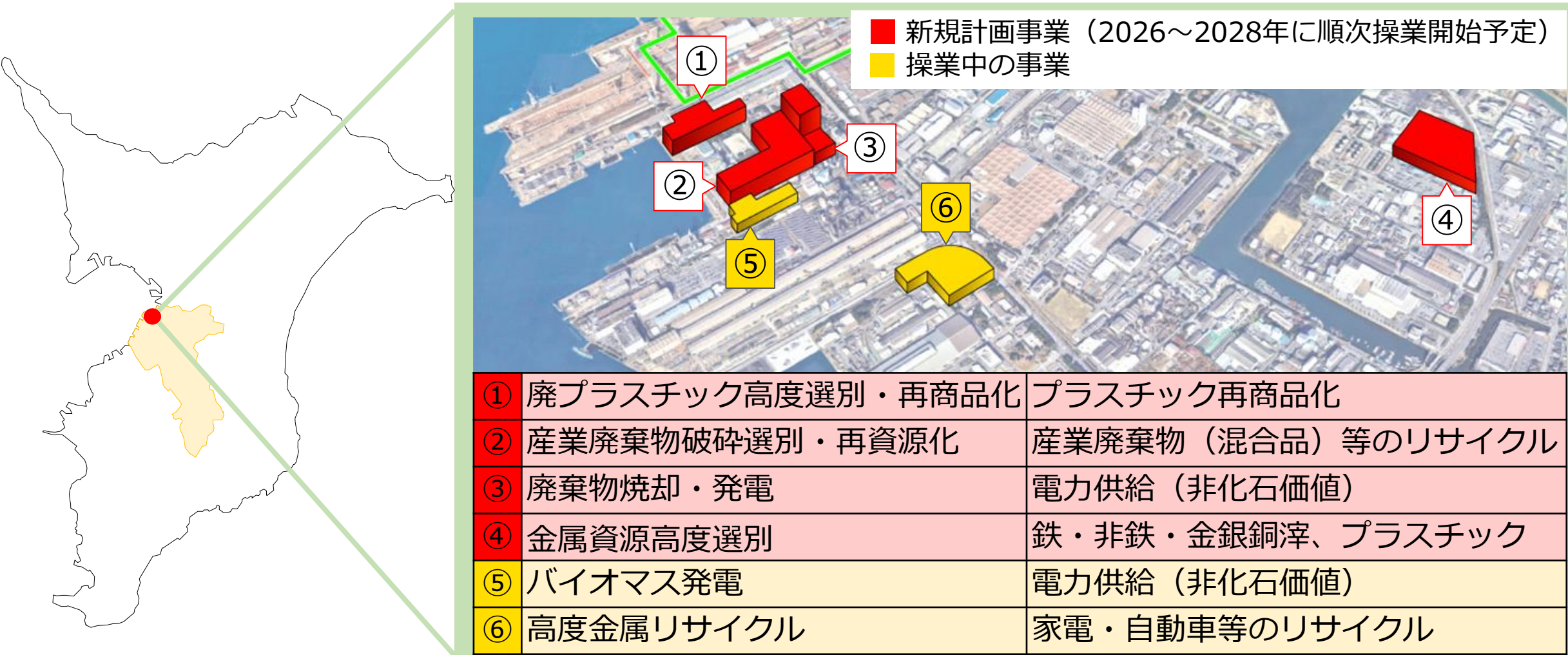


U-15mm

従来 ミックスメタルとU-15mmは、ガラス・陶器と共に最終処分



- ✓ 複数の環境事業の連携による高度な再資源化と相乗効果
- ✓ 公民連携事業の推進（プラスチック資源・災害廃棄物の受入、電力供給）



●千葉県・市原ソーティングセンター

プラスチックの中間処理と再商品化の一体化施設

処理量 : **30,000t/年**

受入対象 : 容リプラ、製品プラともに受入可能

製造品 : PE/PP混合品、PSインゴット

操業開始 : 2026年10月予定

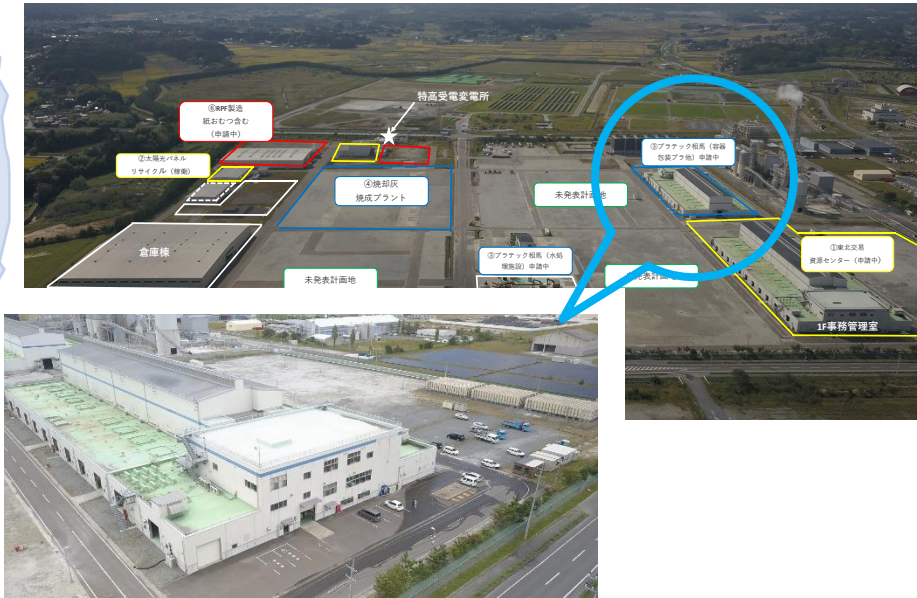
以降、**随時実証を受付**

一括回収の実証の場として開放

事業予定 : 市原市・千葉市の再商品化事業者に選定

【市原市】 3,000 t /年 2027年4月～

【千葉市】 9,000 t /年 2027年12月～



●福島県・相馬サーキュラーパーク

✓同規模のソーティングセンター

✓市原ソーティングセンターのトラブル時も
商品化業務を継続

✓一般廃棄物リサイクル技術推進に関する
サーキュラーエコノミーパートナーシップを締結
相馬市、南相馬市、山形大学、ユニ・チャームなど
10団体加盟、産官学の取組を推進

✓紙オムツ・焼却灰なども幅広く再資源化

- ✓ 自治体様との対話を通じ、社会的な課題の把握を継続
- ✓ 多種多様な地域課題へ対応すべく、地域課題ソリューションを開発

ソーティングセンターの拡大

- ▶ 増大する再商品化需要へ対応。

グリーンメタノール事業との連動

- ▶ 森林未利用材や従来の焼却対象の残渣プラなどからグリーンメタノールを製造。

ソーラーシェアリング事業への参入

- ▶ 農業と発電事業のミックスにより、遊休農地対策にも貢献。

紙オムツリサイクルの実装

- ▶ 焼却炉の延命化、最終処分量の削減に効果的。

リバー児玉事業所

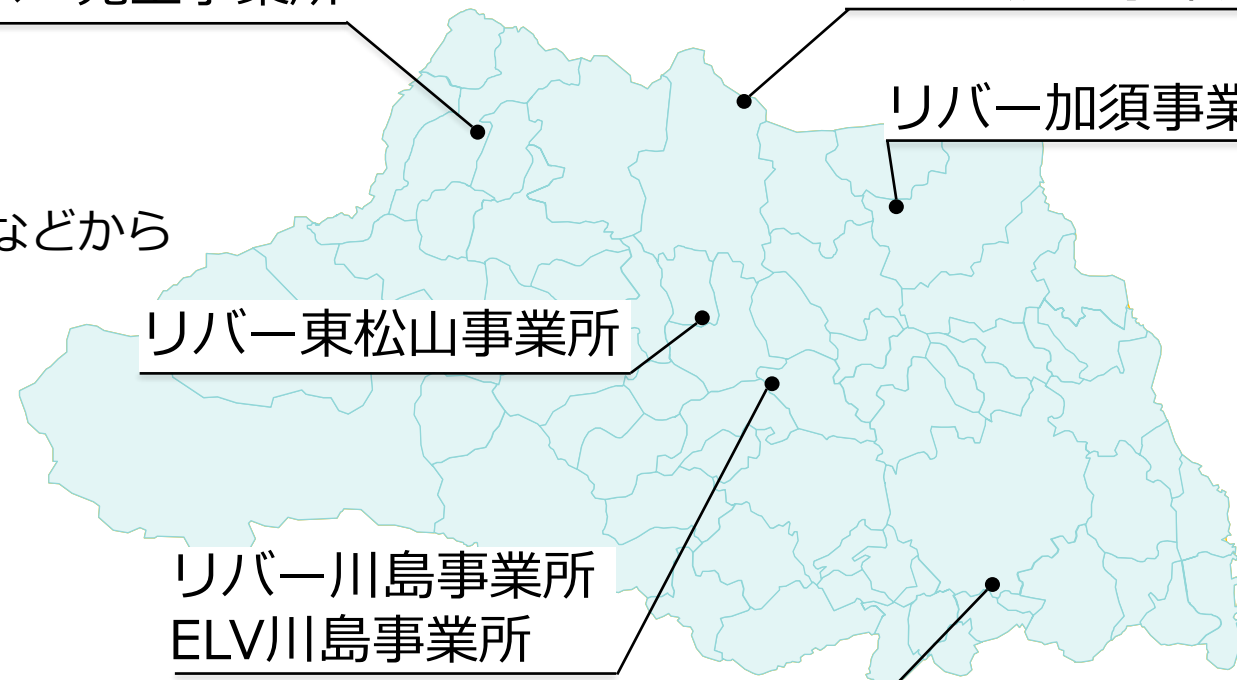
リバー熊谷事業所

リバー加須事業所

リバー東松山事業所

リバー川島事業所
ELV川島事業所

リバー浦和事業所



御清聴ありがとうございました